

## 2020 年度実施概要

学校名

長野県松本市立芳川小学校

採択活動名

川と水の学習 ～水の旅～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 校長講話（9月30日）	1～6年	
2.		
3.		

取り組みの概要

**1 計画変更の経過**

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により、校外での体験活動は中止や延期となり、年度当初の臨時休業による履修時間の確保等も必要となった。

そのため、当初申請した海洋教育事業を中止とし、助成金を全額返還することとしたが、今後も海洋教育活動を継続していくために、全校児童に向けた校長講話を活用し、海洋教育に対する主体的な学びの投げかけを行った。

**2 9月30日校長講話の概要（詳細は「4. 2020 年度教材\_松本市立芳川小学校」参照）**

1. レジ袋有料化の理由と期待される成果について
2. 海洋プラごみの課題紹介と日本のプラスチック排出量について
3. 芳川小学校周辺のごみの現状について（マスクごみの紹介）
4. 不織布の材料はプラスチック
5. SDGs の紹介と自分たちにできることを考える投げかけ

**3 校長講話の成果と、今後の方向性**

校長講話終了後、自分から進んで通学路のごみを拾って登下校する児童がみられ、校長室に報告に訪れてくれるようになった。

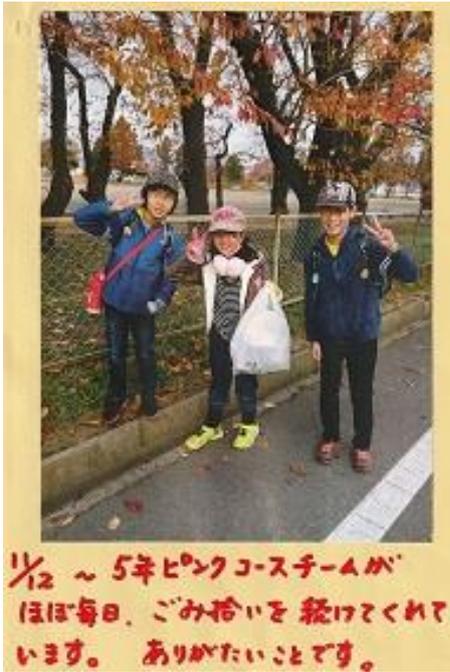
また、児童会を中心として学校周辺環境の美化に取組み、校庭フェンスに校外へ向けて自分たちで作ったポスターを掲出するなど、学校内だけでなく地域への発信に自主的に取組んだ。

この活動をきっかけに、自分の行動が学校内の友達や先生だけでなく地域の大人にも波及し、一緒に未来をより良い方向へ導いていく体験ができるようなモデルを検討したい。（シティズンシップ教育を取り入れた海洋教育実践と成果のまとめ）

活動中の写真

デジタルデータにて2～3枚の添付をお願いします。

(本ファイルへの貼り付け、別ファイルでの添付、どちらでも構いません)



校長講話を聞いて自分たちにできることを自主的に始め、継続している児童たち（通学路のごみ拾い）



家族で続けるごみ拾い  
校門前で、その日のごみの量を報告してくれている。



校長先生へ集めたごみの報告  
低学年の児童にも活動の輪が広がった。



校外へ向けた発信  
校舎を囲むフェンスに外側へ向けたポスターを掲示した。  
学校の周りのゴミが減っていることを子どもたちも実感できている。